

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	新潟市芸術創造村・国際青少年センター		
管 理 者 名	環境をサポートする株式会社きらめき	指 定 期 間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
担 当 課	教育委員会地域教育推進課 ・ 文化スポーツ部文化政策課		
所 在 地	新潟市中央区二葉町2丁目5932番地7		
根 拠 法 令			
設 置 条 例	新潟市芸術創造村・国際青少年センター条例		
施 設 概 要	敷地面積：10,633.07㎡ 延床面積：校舎棟 4,137.59㎡ 体育館棟 2,040.80㎡ ELV棟 38.12㎡ 野外炊事場 147.42㎡ 構造・階高：校舎棟 鉄筋コンクリート造4階建て 体育館棟 鉄筋コンクリート造2階建て ELV棟 鉄骨造4階建て 野外炊事場 鉄骨造平屋建て 主な施設内容：1階 工房・ギャラリー・休憩室×2部屋(各128㎡)、ラウンジ(178.4㎡) 2階 クリエイティブスタジオ(94.7㎡)、クリエイティブルーム×2部屋(94.7㎡、96㎡)、コミュニティスペース(146.2㎡)、水と土の文化 ギャラリー(96㎡)、ワークショップルーム×2部屋(各32㎡)、和室(32㎡) 3,4階 研修室×16部屋(各32㎡)、指導員室×2部屋(各33㎡)、多目的スペース×2部屋(各128㎡)、談話室×2(各 64㎡)、調理室(128㎡)、音楽室(94.7㎡) 体育館棟 体育館(1,213.6㎡)、軽運動場(318.7㎡)、浴室・脱衣所×2(109.8㎡) 野外炊事場(147.4㎡)		

施 設 設 置 目 的
文化芸術活動の支援、青少年の体験活動及び国際交流活動の支援並びに文化芸術活動を行う者、青少年及び市民相互の交流の推進をすることで、文化芸術の魅力の発信及び創出並びに次代を担う心豊かな青少年の育成をし、もって市民の豊かな生活の実現に資することを目的とする。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 ， 方 針 等
1 施設の基本理念 市民と行政が一体となり、青少年健全育成と文化芸術活動にかかる様々なプログラムの展開と支援・交流のための施設を整備することにより、感性を磨き心豊かな子どもの育成及び次世代を担うアーティスト・クリエイターの育成を図る。
2 事業の運営方針 ①家庭や学校とは異なる場所で、様々な活動を体験することにより、次代を担う「心豊かな子どもを育てる」ことを目的とした施設とする。 ②国内外を問わず、アーティストやクリエイターの創作活動の支援及び青少年等との交流、市内文化施設等との連携を図り本市独自の文化芸術の魅力発信を担う。 ③市民交流及び市民力・地域力による青少年健全育成と文化芸術の創出を図る。
3 施設の管理運営方針 ①委託業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。 ②施設の設置の目的を踏まえて、機能及び役割を果たすとともに、各機能が有機的に連携し、相互に補完しあいながら一体的な管理によりその効用を最大限発揮させるよう、積極的に努力する。 ③施設の業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的管理方針のもとで、多岐にわたる業務を総合的な調整を行い、相互連携を保ち、適切に進捗管理を行い実施する。 ④施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、施設利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指す。 ⑤業務の実施にあたって、市の職員と密接な連絡をとり、施設の目的の達成を図るものとし、その実施状況を記録する。

視点	評価項目	評価指標	実績	評価※	評価コメント※
市民	施設利用者数	施設利用者数 年間70,000人以上	142,669人	A	創意工夫により多様な事業を展開し目標を大幅に上回り高く評価する。
	施設稼働率	年間50%以上	56.6%	B	
	広報の充実	広報計画の策定及び計画に基づいた広報の実施	計画通り実施	B	
	事業の実施(文化芸術)	滞在制作する芸術家等 年間8組	8組	B	
	事業の実施(青少年)	青少年健全育成事業 年間6回以上	16回	A	市民ニーズにあった事業を、目標値を上回り開催し高く評価する。
	各種サービス別満足度	利用者アンケートで「満足」が85%以上	93.1% (イベント・団体利用・感謝祭アンケートの結果)	B	
	苦情・要望への対応	苦情・要望には原則5営業日以内に対応	5営業日以内に対応	B	
財務	適正な財政運営	収入計画に基づく収入の確保及び経費の執行	適正な財政運営に努めたが、光熱費高騰の影響を受け、支出が大幅に上回ってしまった	B	
	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支の適切な記録	作成及び記録済	B	
業務	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	・防災訓練を年2回以上実施 ・マニュアル作成	年2回実施	B	
	事件、事故発生時の対応の適切さ	発生後の速やかな市への報告及び再発防止策の策定	発生後の市への報告徹底、スタッフ間で情報共有や再発防止策を講じて速やかに実施	B	
	コンプライアンス	コンプライアンス研修の実施 1人あたり年1回以上	年1回実施	B	
	業務仕様に定める事項の遵守	その他の業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守	B	
人材	職員研修の実施	内部・外部実務研修の実施 1人あたり年2回以上	一人2回以上実施	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守	B	

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
B: 要求水準(評価指標)が達成されている C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者の活動意欲の高まりが利用増に繋がると共に、主催、自主事業においても全て計画通り実施した。加えて、元旦に発生した能登半島地震で校舎等に被害を受けた坂井輪中学校から2月～3月半ばまで代替施設としての利用があり、総じて利用実績、稼働率共に過去最高値で目標を達成した。特に稼働率においては開設以来念願の評価指標50%を超えることができた。これらは、目標を常に意識した館の取組に社会状況の変化が加わり達成したものと史料する。なお、坂井輪中学校の養護教諭から、ゆいぽーとの利用と対応が生徒の心の安定に繋がったとの感謝をいただいた。

文化芸術事業のアーティスト・イン・レジデンス(以下AIR)においては、外国人の応募が増大し、8組の実施において外国人の比率が高まった。作家のアンケートからは、活動の成果や館のサポート体制、市民との交流に満足が読み取れ、事業の成果がうかがえる。また12月には長岡造形大学と連携したAIRを実施した。青少年事業では新潟県内の青少年施設との連携事業として滞在キャンプを実施。9月には寄居浜の海岸清掃や港湾業務艇の乗船体験などゆいぽーとの立地や特色を活かした新たな事業への取り組みも積極的に行った。次年度も利用者に寄り添う丁寧な対応に努めると共に、事業の充実や新企画を推進し、利用促進や満足度の向上を図っていく。また、昨今の物価高騰や利用者の節約志向等が事業運営に影響を及ぼしているが、経費削減に努めながらも事業の質の維持向上を図る所存である。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

現地調査日: 令和6年4月30日

年間利用者は年々増加し11万人を超え、目標を大きく上回ったこと、稼働率が評価指標50%を超えたことを高く評価する。これは、日頃より安心安全を心がけ、市民ニーズと社会状況にあったサービスを提供できたことが要因と考える。

また、文化芸術事業のアーティスト・イン・レジデンスにおいては、応募数も増加したほか、市民交流事業として新たに長岡造形大学との連携による取り組みが開始されたことを評価する。青少年体験活動においては、多彩な体験プログラムのほか、アート体験キャンプや国際交流員とのゲーム交流会、海と関連した事業の実施など施設の特色を活かした取り組みを評価する。

今後も、安心安全な施設管理とともに文化芸術活動・青少年育成活動・国際交流活動の支援を一体的に行い、より効果の高い施設運営を期待する。